

平成31年度予算見積調書

課室名：総務事務センター

担当名：財務・旅費・文書管理システム担当

内線：2378

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B41	文書・財務・旅費システム運用管理事業費			一般会計	総務費	総務管理費	一般管理費	総務事務集中管理費		
事業期間	平成16年度～	根拠法	なし				宣言項目			
							分野施策			
<p>1 事業の概要</p> <p>業務システム（文書管理システム、財務会計システム、旅費システム等）は県の業務の基幹となるシステムである。業務システムは電子県庁の基幹であることから、安全・確実な運用を最優先して運用管理を行う。</p> <p>(1) システム運用管理 580,994千円 (2) 事務集中処理 85,340千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア システム運用管理 580,994千円 システムの維持管理、運用委託、機器賃借 (ア)新 統合基盤移行に係るシステムセットアップ・移行業務委託 200,376千円 (イ)新 会計年度任用職員制度導入に係る改修 4,950千円 (ロ)新 統合基盤移行に係る業務システムポータルサーバー再構築等業務委託 13,709千円 (エ)システムの維持・管理委託 127,288千円 (オ)データ処理(収納データ作成、MPN収納業務委託) 14,344千円 (カ)機器及びソフトウェア等賃借 199,438千円 (キ)その他の運用経費(空調機器等保守、回線使用料等) 20,889千円</p> <p>イ 事務集中処理 85,340千円 業務システムを利用する職員へのヘルプ、業務システムの操作研修、調整を要する旅費の代行入力、旅行用務先の登録及び旅費請求書の作成 (ア)業務システム運用サポート・旅費代行入力等業務委託 84,784千円 (イ)新 統合基盤システム運用・監視業務委託 556千円</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>				<p>(2) 事業計画</p> <p>ア 業務システムを安定に稼働させ、稼働率100%、セキュリティ事故ゼロを目指す。 イ 財務会計、旅費システムについて、制度改正に対応するとともに機能改善を図る。</p>						
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税（単位費用） (区分) 包括算定経費（細目）企画費 (細節) 情報管理等費 (積算内容) 電子計算機による情報処理、運用等</p>				<p>(3) 事業効果</p> <p>ア 稼働率100%、セキュリティ事故ゼロ イ 財務会計、旅費システムの機能向上によりシステム価値が向上する。</p>						
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×10.4人=98,800千円</p>				<p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体の連携状況 システム運用保守業務、ヘルプデスク業務及び研修業務の民間委託(民間のノウハウや専門知識の活用)</p>						
				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比	
予算額										
決定額	666,334								666,334	158,726
前年額	507,608								507,608	